

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	ISO9000 セミナー 内部監査パフォーマンス向上コース
主催者(団体)	一般財団法人日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	詳細につきましては、日本規格協会ホームページをご覧ください。
総時間	6.5 時間
開催場所	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・QMS 審査員補の資格をお持ちの方 ・組織の QMS 運営事務局/内部監査員の方
定員	
題目	
プログラム(次第)	<p>《テーマ① QMS 改善に役立つプロセスアプローチによる有効性監査》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効な監査とは何か ・品質マネジメントの原則/品質マネジメントの理解度演習 ・有効性監査とは ・有効性監査の事例研究/有効性監査事例演習 ・監査のアプローチ ・プロセスアプローチの理論と実践 ・プロセスの分析/プロセス分析演習 ・プロセス監査の準備と実施/プロセス監査準備演習 ・プロセス監査の報告/プロセス監査報告演習 ・プロセスの改善に必要なこと <p>《テーマ② 組織の QMS の有効性向上を支援するための監査の勘所》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の認証組織の多様化した QMS 運営状況 ・ISO9001 の規程事項の解釈及び適用で内部監査員や審査員が重視すべき要素 ・QMS の有効性を促すための課題の検出方法 <p>(※各单元において、ディスカッション及び質疑応答を実施。)</p> <p>《テーマ③ 新しい複合マネジメントシステムの考え方と監査技法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい複合審査技法の概要 ・組織永続のために必要な考え方(ゴーイングコンサーン) ・マネジメントシステムの現状と課題 ・組織永続のためのマネジメントシステムの必要性 ・組織永続のためのマネジメントシステムの構築/プロセスの目、リスクの目、分析演習 ・組織永続となるために必要なこと ・プロセス審査、リスク審査の準備と実施/情報収集準備演習 ・プロセス審査、リスク審査の報告/審査報告演習 ・システム改善に必要なこと <p>※プログラムは、変更になる場合がございます。</p>

内容	<p>「役に立つ監査／審査」によって、組織や部署のマネジメント力は成長していくと言われており、この“役に立つ”の主語は正しく「被監査（被審査）側」であります。その実現のために、監査員／審査員の力量の維持向上は必要不可欠であります。常時監査や審査を行っている方はまれであって、大抵の場合、順繰りで行うことが多いと思います。そのような状況下で、果たして本当に「役に立つ監査／審査」は出来ますでしょうか？</p> <p>やらされ感で監査／審査を行うと、如実に悪さ加減が結果に表れます。単純な記録の確認、規格や要領の適合性、粗探しだけに終始するのではなく、「事実・実態」を良く観て、問題があれば、それを自らが解決できるようそのきっかけを与え、考えさせるように監査／審査を進めていくことが本当の意味での“良い”監査／審査であると言えるのではないのでしょうか。そのためにも、監査員や審査員は様々な考え方を柔軟に取り入れ、正しく理解していく能力が必要となります。</p> <p>当セミナーは、以前は審査員補や（主任）審査員の方々に「監査／審査」の力量を上げていただくためのCPDコースとして実施してきました。今年度から組織において内部監査を行っている方々にも対応できる内容に改訂しました。勿論、これまで通りに審査員（補）の資格維持（CPD）のためのコースとしても十分対応をしております。テーマも関心の高い3つを取り上げました。是非ともこの機会に積極的なご参加をお願いいたします。</p>
プログラムの目標	
CPD点数	20点
料金	一般：¥22,680<税込>、日本規格協会 維持会員：¥20,520<税込> ※参加費は、テキスト・資料代を含んだ金額です。
備考(問い合わせ先)	一般財団法人 日本規格協会 研修ユニット TEL:03-4231-8570 FAX:03-4231-8675
詳細URL	https://webdesk.jisa.or.jp/seminar/W12M1010/index/005/001/011